

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議(第2回)

議事概要

令和4年10月21日(金) 10:00~12:00

於:中央合同庁舎2号館 共用会議室1

各委員からの主な意見

- 試算イメージにおいて、これまでに発生しているものと今後対応が必要となる可能性のあるものに分けて整理しているが、これまでに発生しているものには現時点で契約変更しているものも含めたほうが良いのではないか。
- これまでにコスト縮減の努力してきたこと、これからもコスト縮減の取り組みを行うことをしっかりと示すことは重要。
- コスト縮減について、当初計画からの縮減と施工作業中に生じた縮減があるので、整理に当たっては留意すること。
- 工程の工夫等について、5年前倒しが決められた時の前提条件を確認すべき。
- 事業費と工程の関連する面があるので、整理に当たっては留意すること。
- 設計変更等に関する協議、地元や関係機関との調整などの組織間、また組織内の意思決定で、時間を要することもあるので、このようなことがないように留意すべき。
- 北海道は雪が多く、地域によって気象条件が異なるところなので、他のところよりも色々な不確定要素がある。